



ハートフル多西

多西小学校の学校HPをリニューアルしました。是非ご覧ください →



宿泊行事を通した成長

校長 村岡 由季夫

6年生が9月8日（月）～10日（水）の日程で、日光移動教室に行ってきました。あきる野市では、小学校時代に行なわれる唯一の宿泊行事となります。子供たちの気持ちも盛り上がり、友達と過ごす2泊3日に期待と不安でいっぱいになる子供たちも多かったことでしょう。子供たちと同様に、保護者の皆様にとっても出発前は心配なこともありましたが、移動教室中も「我が子は元気でやっているかしら。」と気が気でない方もいらっしゃると思います。出発前のお見送りや到着後のお迎えにいらした保護者の方の様子や日光でのことをお知らせする学校ホームページのアクセス数を見て、改めて親子にとっての大イベントであったことと痛感しています。実は、教員にとってもかなりのエネルギーを注ぐ行事です。

6年生の子供たちには、大きな成長が見られました。集団生活の3日間でするので自分のことは自分でするのは当然のこと、友達との協力が欠かせません。自分の家でしたら親に頼るようなこと（毎日着る服の整理、部屋の掃除、ベッドや布団敷き・シーツの片づけ等）も自分たちでやらなければいけません。私が以前経験した話を一つ・・・



4年生の宿泊行事でハイキングをしました。その際、転んだのか岩か木に引っかけてしまったのか、ある男の子のズボンが破れてしまいました。無事に行事を終え、学校に到着後、保護者の方にズボンの件を説明しました。私「ハイキングのときにお子さんがはいていた緑色のズボンなんですが、破れてしまいました。」⇒保「えっ、緑のズボンですか。うちの子、緑のズボンを持ってないと思うんですが…」⇒私「たしかに緑色の薄手のズボンなんですけど…」しばらく考える時間があり⇒保「すみません。それ、パジャマです。」そうです。その子は朝起きて、パジャマのままハイキングに行ったのです。んーん。チェックが甘かった。

6年生は「5分前行動」を合言葉に、朝の会、食事、ハイキング、キャンプファイヤー、風呂等、しおりを見て行動していました。初日より2日目、2日目より3日目と余裕をもって動くことができ、集団としてのまとまりも強くなっていくのを感じました。

奥日光の大自然は本当に素晴らしい。朝の湯の湖・・・釣り人が竿を手にする中、目の前に広がる湖面には山々が映っています。戦場ヶ原ハイキング・・・最高気温23℃と清々しい天気の下、グループごとに歩きます。鳥の鳴き声を聞きながら、湯川の流を感じ、70mの高さを流れ落ちる湯滝の迫力に圧倒されます。泉門池の美しさに目をとらわれたか、靴がびしょ濡れになる子も。

移動教室では、旅行会社の添乗員さんが同行して下さいますが、子供たちにお誉めの言葉をいただきました。3日目の昼食は「鶏めし弁当」でしたが、その片付け方が素晴らしいとのこと。その弁当は、プラスチックの容器の上に割り箸、それが紙で包まれ、輪ゴムで留められていました。担任が「元の状態に戻すように。」と指示していましたが、「これまで見てきた中で、一番きれい。」と添乗員さんの言葉。仕事柄、多くの学校を見てきている方の言葉ですので、率直にうれしかったです。きっと、この時だけきれいにできたのではなく、普段から身に付いているものが表れたのでしょう。

日光移動教室を終えて、翌日登校してきた6年生が「日光、楽しかったなあ。」「また、行きたいなあ。」「校長先生は来年も日光行くんでしょ。いいなあ。」とつぶやいていました。今後の6年生の活躍に期待します。